

これはアストラゼネカ英国本社が2004年10月21日に発信したプレスリリースの日本語訳です。
日本で未発売の製品については英語表記のままとします。

AstraZeneca PLC

2004年第3四半期・9ヶ月累計業績

「第3四半期は堅調 - 売上は7%増、1株当たり利益は19%増」

ファイナンシャルハイライト

グループ	第3四半期	第3四半期	前年	恒常	9ヶ月累計	9ヶ月累計	前年	恒常
	2004	2003	同期比	為替	2004	2003	同期比	為替
	\$m	\$m	%	%	\$m	\$m	%	%
売上高	5,265	4,803	+10	+7	15,627	13,974	+12	+6
営業利益	1,261	1,101	+15	+16	3,451	3,262	+6	+2
税引前利益	1,274	1,119	+14	+15	3,521	3,333	+6	+2
例外的項目調整前 1株当たり利益	\$0.55	\$0.47	+17	+19	\$1.52	\$1.40	+9	+5
法定会計 Statutory (FRS3)	\$0.72	\$0.47	+53	+56	\$1.69	\$1.40	+21	+16

伸び率は恒常為替レート (CER) ベースで表示

- 第3四半期の売上は7%増の52億6,500万ドル、営業利益は16%増の12億6,100万ドルでした。
- 米国の売上は6%増、米国以外の売上高は8%増でした。総売上高の伸びは、米国における卸在庫の減少を調整後、11%と推定されます。在庫レベルは通常のレベルになりました。
- 9ヶ月累計の売上高は6%増、営業利益は2%増でした。
- 主な成長製品の9ヶ月累計の売上は80億1,800万ドルで、米国での卸在庫変動調整後、35%伸長したと推定されます。
- 第3四半期の1株当たり利益0.72ドルは例外的項目の利益0.17ドルを含みます。
- 米国におけるExanta™の承認が得られなかったことによる8,000万ドルの引当金が営業利益から差し引かれています。
- Nexium™の第3四半期の売上は6%減少しました；主に2003年の卸在庫の増加による米国における17%減のため米国以外での34%増が相殺されました。
- Crestor™の第3四半期の売上は2億6,000万ドルで、9ヶ月累計の売上は5億9,600万ドルとなりました。発売以来世界中で1,100万件を超える処方調剤が処方されました。
- セロクエルの第3四半期の売上は5億2,900万ドルで、過去12ヶ月の売上は19億ドルに達しました。9月にセロクエルは米国の非定型抗精神薬市場の新規処方におけるマーケットリーダーとなりました。
- 当社は、Exanta™ に関連する引当金控除後の1株当たり利益（例外的項目調整前）を通年で約2.10ドルと予想しています。

最高経営責任者トム・マキロップ卿は次のように述べました：最近Exanta™に関する残念な出来事がありましたが、下半期の業績は好調です。第4四半期も引き続き良好な業績を達成することで、通年の例外的項目前の1株当たり利益2.10ドル前後を達成するとともに、2005年の成長への基盤を築くことができると考えています。

2004年10月21日 ロンドン

Media Enquiries:

Steve Brown/Edel McCaffrey (London)
Staffan Ternby (Södertälje)
Rachel Bloom-Baglin (Wilmington)

(020) 7304 5033/5034
(8) 553 26107
(302) 886 7858

Analyst/Investor Enquiries:

Mina Blair/Jonathan Hunt (London)
Staffan Ternby (Södertälje)
Ed Seage/Jörgen Winroth (US)

(020) 7304 5084/5087
(8) 553 26107
(302) 886 4065/(212) 579 0506

Photos of Sir Tom McKillop, Chief Executive and Jonathan Symonds, Chief Financial Officer are available on www.newscast.co.uk.
Broadcast footage of AstraZeneca products and activities is available on www.thenewsmarket.com/astrazeneca.

ビジネスハイライト 伸び率は恒常為替レートベース(CER)

第3四半期

第3四半期の売上は、為替の影響（プラス3%）を含む報告ベースで10%増の52億6,500万ドルでした。米国以外の売上は恒常為替ベースで8%増でした。米国の第3四半期の売上は、卸在庫増を含む好調な2003年第3四半期に対し6%増でした。米国の卸在庫は全体として目標レベルに達しました。在庫変動調整後、米国の売上は推定15%伸びており、第3四半期のグループの売上の伸び率は11%となりました。同じベースで、主な成長製品の全世界の売上は対前年比35%増となり、売上増の勢いを持続していることを示しています。

第3四半期の研究開発費および販売費・一般管理費は27億6,000万ドルで、2003年第3四半期に対し恒常為替ベースで4%増加しました。予想通り、この増加率は、上半期に報告された恒常為替ベースの13%増よりも大幅に低いものです。第3四半期の営業利益は16%増でした。1株当たり利益（例外的項目前）は、2003年の0.47ドルに対し、0.55ドルでした。Advanta合併事業の売却ならびに例外的税還付による1株当たりの例外的利益0.17ドルが第3四半期に計上されました。

米国以外のNexium™の売上は34%増でした。米国では、9月の価格変更前に大幅に卸在庫が増加した2003年第3四半期に対し2004年第3四半期は卸在庫が減少したことにより売上は17%減でした。米国で調剤された錠剤数は2003年に対し17%増加しました。

Crestor™の第3四半期の売上は、米国の売上1億6,200万ドルを含み2億6,000万ドルでした。発売以来、世界中で1,100万件の処方調剤されました。米国スタチン市場の新規処方におけるCrestor™のシェアは10月8日終了週で7.6%でした。

オンコロジー製品の第3四半期の売上は18%増でした。アリミデックスの売上は58%増でした。イレッサの売上は2003年第3四半期の7,000万ドルに対し1億1,300万ドル（57%増）でした。

セロクエルの第3四半期の売上は51%増の5億2,900万ドルでした。米国以外の売上は33%増でした。米国の売上は、2003年第3四半期が軟調であったことが影響し、59%増でした。米国の処方は引き続き大きく伸びて、9ヶ月累計で31%増でした。過去12ヶ月間の売上は19億ドル弱です。

主要ブランドの業績の包括的なレビューならびにグループの拡大しつつあるR&Dパイプラインのアップデートが10月6日のアニュアルビジネスレビューミーティングで発表されました。

9ヶ月累計

9ヶ月累計の売上は、為替の影響（プラス6%）を含む報告ベースで12%増でした。米国以外の売上は恒常為替ベースで7%増でした。米国の売上は4%増でしたが、これは推定実質成長率12%を大きく下回りました。

第3四半期の営業利益の好調な伸びが、9ヶ月累計の営業利益の伸びを、為替の影響（プラス4%）を含む6%に引き上げました。1株当たり利益（例外的項目前）は、昨年1.40ドルに対し1.52ドルでした。

今後の見通し

第3四半期の結果にみられる研究開発経費および販売費・一般管理費の伸びの鈍化、ならびに順調な売上増の傾向は第4四半期も継続し、比較的低調だった昨年の第4四半期に対し、堅調な利益増が期待されます。当社は通年で2.10ドルの1株当たり利益（例外的項目前）を予想しています。

注意: 当社の利益やビジネスの見通しに対する上記の予測的な記述はリスクや不確定要素をともなっており、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。たとえば、米国におけるオメプラゾールの後発品の売上伸び率、既存製品の継続的成長（特に、Crestor™、Nexium™、セロクエル、Symbicort™、アリミデックス、イレッサ）、原価や経費の増加、利率の動き、為替レートの変動、税率などがリスクや不確定要素です。これらやその他のリスクおよび不確定要素については、2003年アニュアルレポートForm20-Fを含む証券取引委員会への有価証券報告書をご覧ください。

売上高

All narrative in this section refers to growth rates at constant exchange rates (CER) unless otherwise indicated

消化器

	第3四半期		CER %	9ヶ月累計		CER %
	2004	2003		2004	2003	
Losec™ / Prilosec™ (オメプラール)	430	631	-34	1,501	2,037	-32
Nexium™	951	1,000	-6	2,777	2,466	+10
合計	1,407	1,649	-17	4,342	4,556	-10

- Nexium™の米国の第3四半期の売上は17%減でした。これは、9月の価格変更前に大幅に卸在庫が増加した2003年第3四半期に対し2004年第3四半期には第2四半期末の過剰在庫が正常化されたためです。米国における9ヶ月累計の報告ベースの売上（2%増）は、22%の推定成長率とは関連しません。
- Nexium™の米国以外での売上は、すべての主要な市場で好調だったため、第3四半期で34%増、9ヶ月累計では32%増でした。
- Nexium™の注射剤は現在欧州で上市されつつあり、米国での承認は2005年早期に予定されています。9月16日に、当社は、胃潰瘍の治癒およびリスクのある患者におけるNSAID（非ステロイド性消炎鎮痛剤）治療に伴う胃潰瘍・十二指腸潰瘍の予防を含むNexium™の新規適応症についてEUで相互認証方式の手続きが完了したことを9月16日に発表しました。米国および他の市場における承認は数ヶ月以内と予想されます。
- 米国のPrilosec™の売上は、処方件数の減少にともない、第3四半期には62%減、9ヶ月累計では63%減でした。
- Losec™の米国以外での売上は、第3四半期には20%減、9ヶ月累計では13%減でしたが、9ヶ月累計の売上は日本（21%増）と中国（25%増）で伸長しました。

循環器

	第3四半期		CER %	9ヶ月累計		CER %
	2004	2003		2004	2003	
Seloken™ / Toprol-XL™ (セロケン)	353	286	+22	1,006	1,034	-5
Atacand™	214	185	+13	639	543	+10
Plendil™ (スプレンジール)	102	144	-30	361	383	-10
Zestril™ (ゼストリル)	105	116	-12	327	342	-12
Crestor™	260	76	n/m	596	88	n/m
合計	1,208	984	+20	3,456	2,920	+12

- Toprol-XL™の米国での第3四半期の売上は、概ね需要と一致しており、35%増でした。9ヶ月累計の処方件数の伸びは19%でした。9ヶ月累計の売上（7%減）は、卸在庫が増加した2003年の同期に比べて依然としてマイナスとなっており、酒石酸メトプロロールの後発品の販売承認を申請している3社に対して米国で特許訴訟が進行中です。本訴訟の詳細は本中間財務報告書のNote 4に記載されています。
- Seloken™の米国以外の売上は第3四半期は2%減、9ヶ月累計は2%増でした。
- Atacand™の米国以外の売上は第3四半期は15%増、9ヶ月累計は17%増でした。
- Atacand™の米国の売上は第3四半期は7%増、9ヶ月累計は4%減でした。8月までの総処方件数は3%減でした。

- Atacand™ の慢性心不全の治療薬としての承認申請はEUおよび米国で審査中です。
- Crestor™ の第3四半期の売上は2億6,000万ドルで、第2四半期の2億700万ドルから増加しました。また、Crestor™の米国の第3四半期の売上は1億6,200万ドルで、第2四半期の売上1億1,300万ドルよりも増加しました。
- Crestor™ は現在までに64カ国で承認され、51ヶ国で上市されています。発売以来、1,100万件を超える処方箋が調剤されました。
- 日本の厚生労働省の審議会が承認を推奨し、Crestor™ の承認は2004年末までに見込まれています。
- プロモーション活動の増加とコレステロールの上昇に対するより集中的な治療を促す新たなガイドラインの発表により、米国のスタチン市場の成長は2004年を通して加速しました。第3四半期のスタチン製剤の新規処方箋は18%伸びましたが、2003年通年の伸びはわずか6%でした。10月8日終了週の、この拡大市場における新規処方箋のCrestor™ のシェアは、7月初旬から0.9ポイント回復して、7.6%でした。ダイナミック・マーケット（新規・切替）のシェアは直近の週で14.7%でした。
- Crestor™ の欧州の売上（9ヶ月累計で1億5,700万ドル）は、フランス（30週で金額ベースシェア3.4%）およびイタリア（26週で金額ベースシェア8.0%）での発売後の順調な推移を反映しています。先月、スタチンの総処方箋件数のCrestor™ のシェアはオランダで9.9%、カナダで11.4%、英国で3.5%でした。

呼吸器

	第3四半期		CER %	9ヶ月累計		CER %
	2004	2003		2004	2003	
Symbicort™	185	128	+39	578	377	+37
パルミコート	211	184	+12	737	674	+4
Rhinocort™	87	86	-	268	272	-4
アコレート	31	20	+55	84	76	+8
Oxis™	25	31	-22	76	91	-25
合計	574	485	+15	1,861	1,600	+8

- Symbicort™ の売上は第3四半期で39%増、9ヶ月累計で37%増でした。過去12ヶ月の売上は7億5,000万ドルに達しました。
- 米国において、Pulmicort™ Respules™ の売上は、2003年の同期に対する卸在庫の減少が原因で、第3四半期（17%増）、9ヶ月累計（14%増）とも推定成長率20%を下回りました。
- 9ヶ月累計のRhinocort™ Aquaの処方箋件数は、アレルギー治療薬・経鼻ステロイドの米国市場における総処方箋件数同様横ばいでした。9ヶ月累計の売上は卸在庫の変動により7%減でした。

オンコロジー

	第3四半期		CER %	9ヶ月累計		CER %
	2004	2003		2004	2003	
カゾデックス	258	230	+7	736	647	+5
ゾラデックス	236	224	+1	675	630	-1
アリミデックス	221	136	+58	578	372	+45
イレッサ	113	70	+57	309	136	+117
Faslodex™	24	19	+26	73	56	+28
ノルパデックス	30	38	-26	99	138	-35
合計	885	722	+18	2,481	1,993	+15

- カゾデックスの米国以外の売上は第3四半期で6%増、9ヶ月累計で11%増でした。日本では9ヶ月累計の売上が27%増で成長を牽引しました。

- 米国におけるカゾデックスの9ヶ月累計の売上は、昨年のレベルを下回りましたが（10%減）、両時期の在庫レベルの差異により推定売上成長率は7%です。
- アリミデックスの売上は、早期乳がんの治療における使用の増大により、引き続き伸長しました。9月まで米国におけるアリミデックスの総処方件数は43%増加しました。第3四半期の大幅な成長（67%増）の結果、9ヶ月累計の米国の売上増は42%（上半期に報告された29%を上回る）でした。
- アリミデックスの9ヶ月の売上は欧州（55%増）および日本（36%増）においても大きく伸びました。
- イレッサの米国における売上は第3四半期で5,900万ドル、9ヶ月累計で1億5,900万ドルでした。第3四半期の小売処方件数は昨年比63%増、2004年第2四半期に比8%増でした。日本における売上は第3四半期には15%増、9ヶ月累計では30%増でした。それ以外の市場での売上は9ヶ月累計で5,300万ドルに達しました。
- Faslodex™ の9ヶ月累計の売上は、本年3月欧州の販売承認取得後の各国での発売を受けて、28%増でした。米国の売上は13%増でした。

ニューロサイエンス

	第3四半期		CER %	9ヶ月累計		CER %
	2004	2003		2004	2003	
セロクエル	529	345	+51	1,465	1,059	+35
ゾーミグ	81	83	-4	267	245	+2
ディプリバン	126	105	+18	374	339	+5
局所麻酔薬	128	121	+4	398	344	+7
その他	16	17	-12	54	54	-9
合計	880	671	+29	2,558	2,041	+20

- セロクエルの米国以外での第3四半期の売上は、双極性障害におけるうつ病の適応症の上市に牽引され欧州の売上が好調で（44%増）、33%増加しました。9ヶ月累計の売上は28%増でした。
- 米国における非定型抗精神薬の処方件数は9月までで9%増加し、セロクエルの処方件数は31%増加しました。9月には新規処方におけるセロクエルのシェアは26.4%に達し、リスペリドンを追い抜き新規処方におけるNo. 1の製品となりました。
- 米国における第3四半期のセロクエルの売上は需要と一致していました。59%の売上増は2003年第3四半期の卸在庫の減少を反映しています。9ヶ月累計の売上は37%増でした。
- ゾーミグの米国における売上は第3四半期では9%減、9ヶ月累計では2%増でした。米国以外では、第3四半期の売上は2%減、9ヶ月累計の売上は3%増でした。

地域別売上高

	第3四半期		CER %	9ヶ月累計		CER %
	2004	2003		2004	2003	
米国	2,407	2,271	+6	6,974	6,703	+4
欧州	1,858	1,662	+7	5,661	4,863	+3
日本	352	297	+9	1,018	833	+9
その他	648	573	+12	1,974	1,575	+16

- 米国の報告ベースの売上成長率は、卸在庫の変動に影響され、実際の堅調な成長を下回るものでした。在庫変動調整後、9ヶ月累計の売上は12%増（特許切れの3製品を除くと28%増）でした。
- 9ヶ月累計、欧州の売上増は、Crestor™の相次ぐ上市に加えて、Nexium™（30%増）、Symbicort™（35%増）、

アリミデックス(55%増), and セロクエル (40%増)の堅調な売上増を反映しています。この大幅な売上量の増加により、 Losec™ の売上減と殆どの市場における価格下落を相殺することができました。

- オンコロジー製品 (20%増) とオメプラール (21%増) が日本の9ヶ月累計の売上を牽引しました。

営業レビュー

伸び率は恒常為替レート (CER)

第3四半期

報告ベースで売上は10%増、営業利益は15%増でした。恒常為替ベースで、売上高は7%増、営業利益は16%増でした。

為替の営業利益に対する正味の影響はわずかにマイナスで、1株当たり利益は1セント弱減少しました。昨年の第3四半期と比較して、ユーロは米ドルに対して8%高となり売上にプラス影響を与えましたが、スウェーデンクローナと英ポンドは米ドルに対しそれぞれ8%高、11%高となり、コスト高の要因となりました。ヘッジによる利益は昨年の第3四半期とほぼ同じでした。

米国の在庫管理契約の締結先は流通業者16社に拡大し、米国における出荷状況がよりよく予測できるようになりました。過剰在庫は大幅に削減され、第3四半期末の時点で、目標在庫レベルである1ヶ月未満がほとんどの製品において達成されました。昨年の第3四半期には1億ドルの在庫増が見られたのに対し、本第3四半期には約7,500万ドル卸在庫レベルが減少しました。これらの在庫変動調整後、グループの総売上は約11%増加しました。

第3四半期の売上総利益率は、0.6ポイント増の76.1%でした。メルク社に対する支払い比率が、昨年の第3四半期の売上比6.7%から本第3四半期は売上比4.9%に低下したこともあり、製品構成が引き続き改善しました。Exanta™ が米国でFDAの承認を取得できなかったため、Exanta™ 関連の在庫や資産について8,000万ドルの引当金を計上しました。

研究開発費と販売費・一般管理費の総費用は、上市関連経費がピークを越したことにより、昨年の同期と比べ4%増の27億6,000万ドルでした。研究開発費は比較的低下した昨年の同期に対し8%増でした。一方、昨年の同期に比べ、米国におけるプロモーション経費が比較的低下したため、販売費・一般管理費は2%増に抑制されました。為替のマイナス影響調整前、第3四半期の研究開発費と販売費・一般管理費の総費用は売上比で1.5ポイント減少しました。

第3四半期の営業利益率は昨年の同期に比べ1.1ポイント増加し24.0%でした。営業利益率は売上総利益率、販売費・一般管理費および研究開発費（上記のとおり）により上昇しましたが、コストに対する為替のマイナス影響により約0.8ポイント相殺されました。

9ヶ月累計

報告ベースの売上は12%増、営業利益は6%増でした。恒常為替レートによる売上は6%増、営業利益は2%増でした。累積ベースで、為替のプラス影響により、1株当たり利益は約5セント増でした。現行の為替レートおよび2003年第4四半期にみられたヘッジによる利益の反復は期待できないことから、本年第4四半期には、2セントから3セントのマイナス影響が予想されます。

前述のとおり、米国の卸在庫は目標レベルまで低下しました。2003年の1月-9月の9ヶ月累計には、通常レベルを3億ドル超過するような大幅な在庫増がみられました。これらの在庫変動調整後、グループの総売上は約10%伸長しました。

売上総利益率は1.2ポイント増の76.8%でした。メルク社に対する支払い率（売上比5.2%）は昨年よりも1.4ポイント低下しましたが、この利益も、現行のオペレーションの改善による利益も、Exanta™ に関する引当金により一部相殺されました。

9ヶ月累計の研究開発費と販売費・一般管理費の増加率は恒常為替レートにおいて10%でした（報告ベースでは18%）。これは、主に上市コストがピークを越したため、上半期に報告された恒常為替レートにおける増加率13%よりも減少しました。個別には、昨年下半年の創薬研究と開発部門における人員採用が引き続き2004年9ヶ月累計（1月 - 9月）のコスト増の要因となりました。一方、販売費・一般管理費の増加は製品上市と新規消費者キャンペーンによるものです。

9ヶ月累計の営業利益率は昨年同期比1.2ポイント減の22.1%でした。特に上半期の研究開発投資と販売費・一般管理費の増加が売上総利益率の改善を相殺しました。

利息および配当収入

9ヶ月累計の正味利息・配当収入は7,000万ドル（2003年は7,100万ドル）で、第3四半期は1,300万ドル（2003年は1,800万ドル）でした。既に報告されたように、正味金利には受け取り利息の減少を相殺した金利スワップ契約終了による利益を含んでいますが、米ドルに対する収益率が昨年より低下するとともに支払金利も増加しました。

税金

実効税率は2003年同期の27.5%に対し、本第3四半期は27.0%でした。

総認識利得損失計算書には、英国における為替差損に対して当局と合意された3億5,700万ドルの税金還付が含まれています。

例外的項目

Advanta合併事業の売却は2004年9月1日に完了し、売却額は2億8,700万ドルでした。これには、売却される正味資産の最終合意時に支払われる4,800万ドルを含みます。売却益は、売却取引諸費用および保証・損害賠償費用引当金を控除後、2億1,900万ドルでした。売却に伴う税金は発生しません。

2002年に例外的項目として計上されたゾラデックスの和解金3億5,500万ドルの一部が税控除されることが米国税務当局と合意されました。その結果、第3四半期に5,800万ドルが例外的税控除として計上されました。

キャッシュフロー

9ヶ月の例外的項目調整前の営業活動によるキャッシュフローは、2003年同期の35億3,200万ドルに対し38億500万ドルに増加しました。昨年同期に比べ9ヶ月累計の営業利益の増加、運転資本の減少および例外項目に係わる現金支出の減により営業活動による正味キャッシュフローは6億5,200万ドル増の37億9,700万ドルとなりました。

納税額（10億1,100万ドル）と資本支出（9億2,700万ドル）は2003年の同期と概ね同様でした。昨年のMarlow Foods売却に関する現金収入8,000万ドルに対して、本年は Durascan ならびにAdvantaの売却により3億800万ドルの現金収入がありました。

中間配当金は、2003年は10月に支払いましたが、2004年は9月に支払われました。これにより、昨年の7億7,000万ドルに対し本年は1ヶ月早く13億7,800万ドルの支払いが発生しました。株の買い戻しプログラムにより9ヶ月累計で15億5,000万ドルが支出されましたが、2003年の同期では5億3,200万ドルでした。

正味キャッシュファンドは年初から6億700万ドル減少し2004年9月30日現在で28億8,900万ドルでした。

株の買い戻しプログラム

第3四半期は、総額5億8,200万ドルで、1,330万株が買い戻され消却されました。これにより、9ヶ月累計に買い戻された株は、総額15億5,000万ドルで3,350万株になりました。

2004年9月30日現在、発行株式は16億6,100万株です。

今後のマイルストーンおよび主なイベント

2004年10月25日	IFRS(国際会計基準)に基づく2003年度および2004年上半期の再表示
2005年1月27日	2004年第4四半期および通年業績発表

トム・マキロップ卿
最高経営責任者